

小学校 3年 算数科

考える

話す・聞く
書く

育成したい
国語力

理由を明らかにし、導かれる結論を明確にして話す、聞き取る。
理由を明らかにし、導かれる結論を明確にして書く。

単元名

「時間と長さ」

本時の目標

- ・ 2つの時刻を知って、その間の時間を求め方を考える。
(数学的な考え方、表現・処理)

本時の流れ

導入

問題の把握

まさ子さんは、午後1時45分に家を出て、午後2時20分に遊園地に着きました。かかった時間はどれだけでしょう。

本時のめあての確認

時間を求めよう。

展開1

個別

自力解決

ワークシートの絵や図を利用して、いろいろな方法を考える。

展開2

グループ

練習合い

自分の考えを発表する。友達の考えを、自分の考えと比べながら聞く。

展開3

個別

発展問題

午前9時30分から午後1時までの時間はどれだけでしょう。
数直線を使って考える。

まとめ

一斉

本時のまとめ

学習を振り返って文に書く。
・ 分かったこと
・ できるようになったこと

次時の予告

教材等の例

問題
まさ子さんは、午後1時45分に家を出て、午後2時20分に遊園地に着きました。かかった時間はどれだけでしょう。

下の図などを使って、いろいろな方法で考えましょう。

そのほかの考え方

視点①

考えるためのヒントの用意

多様な考え方をさせるためには、そのヒントとなる材料を与えることが大切です。

この学習では、右のようなワークシートを用意し、考えるための材料としました。

<ワークシートの内容>

- ・ 時刻の入った時計の絵
- ・ 針のない時計の絵
- ・ 時計の文字盤と数直線の間のももの
- ・ 数直線

ヒントだけに限定されず、多様な考え方ができるように「その他の考え方」の欄も設けてあります。

視点②

言葉で書くことの効果

ノートを使う場合も同じですが、単に絵や図をかきだけでなく、考え方を言葉にして書き表すことが大切です。書くことによって右のような効果が考えられます。

- ・ 書くことで、自分の考えが確かめられる。
- ・ 教師がその考えを取り上げられる。(仲介)
- ・ 発表する時の手がかりとなる。

視点③

多様な考え方のきっかけ作り

自分の考えを発表することを恥ずかしがる児童に、キャラクターの吹き出しを書かすと、発言への抵抗感をなくす効果があります。

「あなたのワークシートの右下の男の子はどんな考え方をしていますか？」などと発問して、考えたり、発表させたりすることで、多様な考え方を促すことができます。

視点④

なぜ、振り返りをかくのか？

学習を振り返って文を書くということには、次のような意味があります。

<児童にとっての意味>

- 自分の成長の意識化
- 自分自身の学びの振り返り
- 次の学習への活用
- 赤ペンでの支援による、関心・意欲の向上
- メタ認知の育成

<教師にとっての意味>

- 理解度や内面、変容の把握
- 関心・意欲・態度、数学的な考え方についての評価
- 個に応じた具体的支援
- 指導と評価の一体化
- 授業改善
- 内容を分析して、コメントを書いたり、評価したりするなどの指導が大切です。